

減衰振動波試験器

# SWCS-931SD

## 特徴

- 最大電圧1.5kVを出力できます。
- 繰返し周期0.4Hz~400Hzまで可変できます。
- 出力抵抗50~200Ωまで可変できます。(10Ωstep)

## 仕様

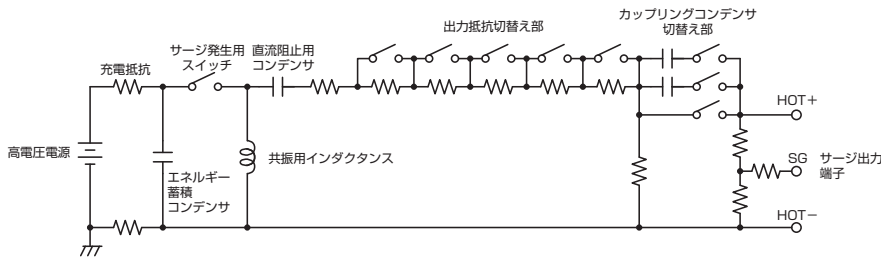
項目	仕様
出力波形	減衰振動波
出力電圧	100V~1500V
極性	正(第一波)または負(ショートバー切換え)
振動周波数	1.5MHz ±0.2MHz
半波高値に至る時間	10μs ±20%(0.1kV~1.0kV) 10μs ±40%(1.0kV~1.5kV)
出力インピーダンス	50~200Ω (10Ωピッチ設定可能)
繰返し周期	0.4~400Hz (3段階切替、連続可変)
印加時間	1s ~ 10minまたは連続
カップリングコンデンサ	100pF / 470pF
電源	AC100V~240V、50 / 60Hz
寸法	(W) 430× (H) 200× (D) 400mm
質量	約7kg



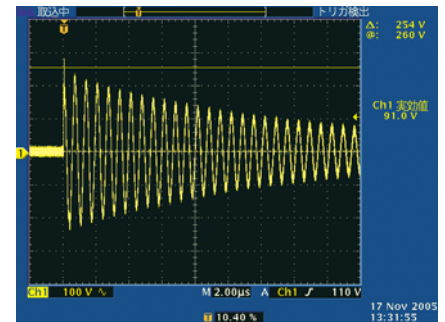
## 添付品

商品名	数量
添付品バッグ	1個
取扱説明書	1冊
電源ケーブル	1本
ショートバー	1本

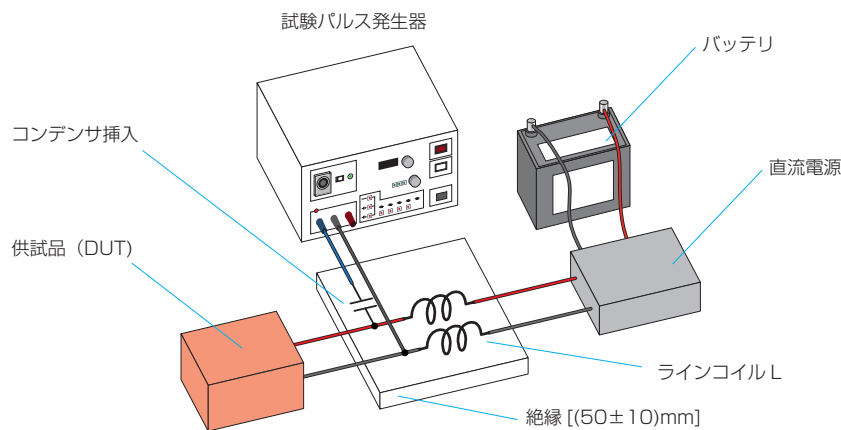
## 内部回路



## 出力波形



## 試験方法 (イメージ)



### 減衰振動波形を用いた試験例

- ①グラウンド板の枠外に本試験器（以降、本体とします）を置きます。
- ②本体背面部のAC INに添付品のコードを接続します。
- ③本体HOT端子とグラウンド端子に供試品接続用ケーブルを接続し（HOT側にはコンデンサ挿入）、その反対側を試験するハーネスへ接続します。  
※接続用ケーブルはお客様にてご用意ください。
- ④本体正面コントロール部で印加電圧などの諸条件を設定し試験を実行します。